



仕事復帰へのウォーミングアップ

ママボノ  
mamabono

私にできるボランティア

# ママボノ2016報告書

認定NPO法人サービスグラント

2017年3月30日

企画・運営



Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

# 目次

1. ママボノとは
2. ママボノ2016実施概要
3. プロジェクトの成果
4. 参加者アンケート結果
5. 支援先アンケート結果
6. メディア掲載

# 1. ママボノとは



## 復職前に“仕事モード”を 体験できるプロボノプログラム。

復職を目指すママたちが、これまでの仕事の経験やスキルを活かし、

**チームでNPO支援活動**を行います。

**子育て中心の暮らしから“仕事モード”へのウォーミングアップに。**

子どもや家に集中していた視野を再び社会に向ける機会に。

ボランティアを通じて行う、

**「私」と「社会」のためのプログラム**です。

ママ

+

プロボノ

=

ママボノ

プロボノとは  
専門的なスキル・経験等を  
ボランティアとして提供し  
社会課題の解決に成果をもたらすこと

**Pro  
Bono  
Publico**

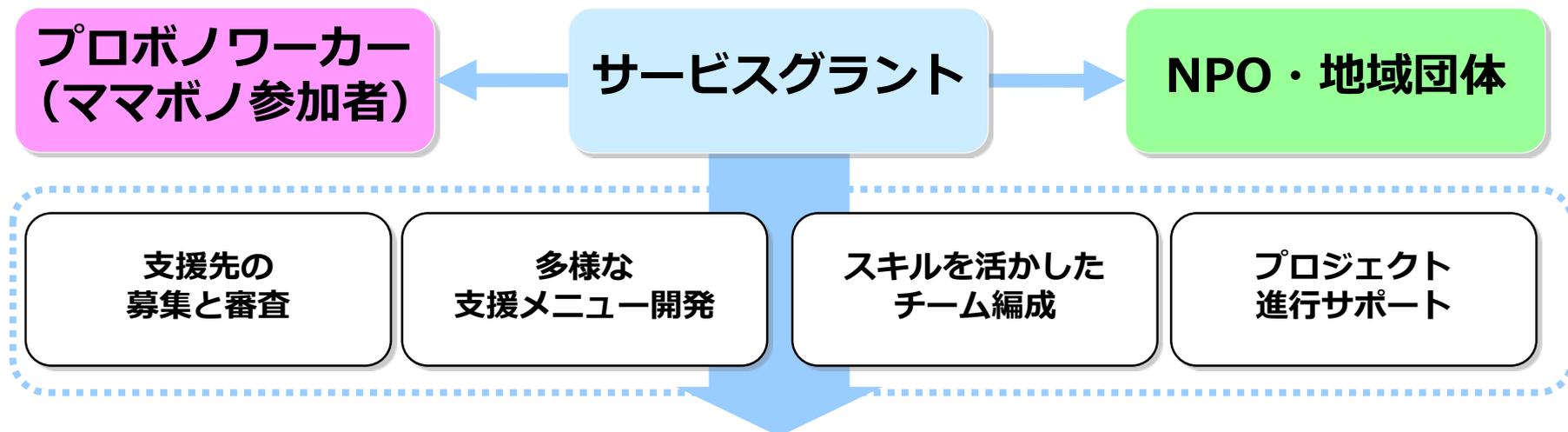
(ラテン語)

**For  
Good  
Public**

(英語)

**[公共善のために]**

サービスグラントは、プロボノに特化したコーディネートを通じてNPOや地域団体を支援するNPOです。長年のノウハウを標準化・仕組化し、より多くの社会人が参加できるように、新たなプログラム開発を行っています。



## 支援先の運営基盤強化に役立つ具体的な成果物





# ママボノの意義

ママボノは、NPOや地域団体が抱える組織経営、事業運営上の課題を、社会人が仕事で培っている経験やスキルを生かして支援することで、団体の組織基盤を強化し、社会課題の解決を後押しする取り組みです。

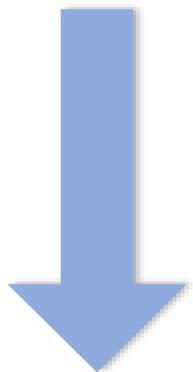
## ママボノ参加者

復職へ向けた**ウォーミングアップ**をしながら、**スキルを高めたい**。

仕事・子育て・家庭+α **視野を広げる経験**をしたい。

働く女性同士の **ネットワーク**を広げたい

## ママボノプロジェクト



## 支援先

恒常的なヒト・モノ・カネの**資源不足**

子育て世代の視点、**ママの視点**を活かした提案がほしい。

**7割のNPO**がなんらかの**支援要**。実際の提供は12%程度。(※)

※米国タッブルートファウンデーション  
Mandi Chappell氏 セミナーより

将来の復職・仕事再開に向けた“ウォーミングアップ”に

**コミュニケーション**

**課題解決力**

**視野の広がり  
社会への関心**

## 2. ママボノ2016 実施概要

**期 間**：2016年10月下旬～12月中旬

**開催場所**：東京・大阪

**チーム数**：東京10チーム、大阪2チーム

**参加人数**：東京66名、大阪12名

## ママボノ参加者

- ・ 育児休業取得中の女性
- ・ 復職を視野に入れている子育て中の女性

## 支援先対象団体

- ・ N P O法人など



## オリエンテーション (東京10/25, 大阪10/28)

- ママボノチームメンバー顔合わせ
- プロジェクト準備開始



キックオフミーティング  
準備



## キックオフミーティング (東京11/11, 大阪11/8)

- チームと支援先との顔合わせ
- 活動についてヒアリングなどを実施



プロボノワーク  
(ヒアリング、成果物制作)



## 成果提案 (東京12/7, 大阪12/5)

- 成果物を支援先に提案
- 他チームとの成果共有

東京

2016年10月25日  
(於 日本財団会議室)



大阪

2016年10月28日  
(於 大阪市立生涯学習センター)



ママボノプロジェクトのオリエンテーションを実施、チーム顔合わせと、プロジェクト成果目標の確認、ミーティングスケジュールの調整、作業分担などをしました。

東京

2016年11月11日  
(於 日本財団会議室)



大阪

2016年11月8日  
(於 ブリーゼプラザ)



支援先団体担当者との顔合わせ。団体の活動内容の確認、最終成果物イメージの確認、ヒアリング日程調整などを行い、いよいよプロボノワークが始まりました。

## キックオフミーティング日～成果提案日

キックオフミーティング後、成果提案日に向けて、各チームでプロジェクトを展開。どの成果物を作成するにも、支援先団体への理解は重要なフェーズ。支援先訪問や、ヒアリングやアンケート調査から得た情報を整理し、成果物制作を行います。

チーム活動例：



「めじろ台町会連絡協議会」  
チーム  
高齢化率約40%という地域特性を踏まえ、アンケートは紙で実施。回答のデータ化をチーム全員で分担しました。



「働く女性の全国センター」  
チーム  
子連れで落ち着いてミーティングできるスペースということで、メンバーが自宅を開放。アットホームな環境でミーティングをしました。



「ぷかぷか」チーム  
障がいのある人たちの働くパン屋、カフェ、お惣菜屋、アートスタジオのウェブサイト改善提案。まずは支援先理解をと、赤ちゃんを抱っこして、支援先を訪問しました。

東京

2016年12月7日  
(於 日本財団会議室)



大阪

2016年12月5日  
(於 ブリーゼプラザ)



プロジェクトの集大成である最終成果物をチームごとに報告し、成果物活用のご提案をしました。その後、全体で成果報告会を行い、他チームの成果物を共有しました。

## 東京

2017年2月25日

育休・離職のブランクをプラスに！  
ママボノ報告会  
(於 日本財団会議室)



参加者・支援先のプロジェクト報告、ブランクを経た女性活躍を考えるパネルディスカッションを実施しました。

(登壇者：桜井陽氏／日本経済新聞社、藤澤理恵氏／株式会社リクルートマネジメントソリューションズ、村松邦子氏／NPO法人GEWEL、矢部いづみ氏／ママボノ参加者・NTTデータシステム技術株式会社)

## 大阪

2017年3月5日

子育てしながら働くために～産前・産後のポイント&ママボノ報告会  
(於 ブリーゼプラザ)



復職に向けた心と体のダメージケアや産後の過ごし方をテーマにしたイベントを実施、その中で、参加者・支援先によるママボノプロジェクト報告を実施しました。

(共催団体：NPO法人マドレボニータ・一般社団法人ドゥーラ協会)

# 3. プロジェクトの成果

エリア	団体名	所在地	支援メニュー
東京	NPO法人GEWEL	東京都港区	マーケティング基礎調査
	第20回全国シェルターシンポジウムin東京実行委員会	東京都江戸川区	チラシ制作
	市民のためのがん治療の会	東京都国立市	マーケティング基礎調査
	せたがやチャイルドライン	東京都世田谷区	チラシ制作
	一般社団法人ドゥーラ協会	東京都千代田区	チラシ制作
	働く女性の全国センター	東京都台東区	課題整理ワークショップ
	NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ	東京都清瀬市	アンケート活用
	NPO法人ぷかぷか	神奈川県横浜市	ウェブ改善提案
	めじろ台町会連絡協議会	東京都八王子市	マーケティング基礎調査
大阪	NPO法人石巻復興支援ネットワーク	宮城県石巻市	アンケート活用
	ぷちでガチ！育休MBA講座	大阪府大阪市	マーケティング基礎調査
	NPO起立性調節障害ピアネットAlice	兵庫県神戸市	業務改善

## マーケティング基礎調査

子どもを持つ女性社員が持つ潜在的な不満や悩みの具体的な中身を明らかにし、ダイバーシティ&インクルージョンを推進するGEWELの今後の活動に向けた提案をしました。

【NPO法人GEWEL様 マーケティング調査プロジェクト】

### ママボノ2016 最終成果物提案書

2016年12月7日

SERVICE GRANT

#### と、GEWEL様SWOT分析から導き出される活動のご提案

課題	GEWEL様 SWOT分析結果	活動のご提案
働き方に対する 不公平、過剰な 負担による	<強み: 人間> ● <機会: WMの増加> <強み: 人間> ● <強み: 活動実績>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的なWM獲得フォーラムの開催</li> <li>キャリアを相談できるメンターの育成プログラム</li> </ul>
能力発揮の場 がない	<強み: パイオニア> ● <機会: 男性の活用率向上>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPOが提供する英語学習</li> <li>子育て女性とそのパートナーまでを含めた包括的なキャリアアプランニングアドバイス、コーチング</li> </ul>
企業、消費者の ニーズを捉えられ ない	<強み: 人間> ● <機会: WMの増加>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GEWEL様のイベントを通じて社外ロールモデルとの出会いの提供</li> <li>ポジティブになれる活動の提案、同じ境遇のママとのシェアリングの場の提供</li> </ul>
情報収集が、まだ 少ない	<強み: 人間> ● <機会: WMの増加>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポジティブになれる活動の提案、同じ境遇のママとのシェアリングの場の提供</li> <li>社内外の企業へのアプローチでの発信や、たまたま等が主催しているWM向けイベントでの発信</li> </ul>
活動が、レベルが 低い、レベルが 低い	<強み: 人間> ● <機会: 社内外との参加率向上>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度を取り入れてもらうための情報提供</li> <li>ダイバーシティ活動の場の提供（成功・失敗事例の共有、プロボノ体験）</li> <li>活動・事後研修への組み込み</li> <li>企業人事向けに働き方ミックスのD&amp;I体験プログラムの提供</li> </ul>
活動が、まだ 少ない	<強み: 多様な経営陣>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究・実証の強化の研修を提案</li> <li>企業向けD&amp;I研修で評価可能な成功事例を共有</li> </ul>
公平な評価 がされない	<強み: 人間> ● <機会: 制約人材の活用率向上>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイバーシティ活動の場の提供（成功・失敗事例の共有、プロボノ体験）を通じて、制約人材の活用促進</li> </ul>

#### 制約人材活用成功事例共有の場を提供

活動提案	内容	目的	解決する課題	参加者	開催頻度	人的リソース	会費リソース	告知方法
GEWEL様主催による、様々な企業の制約人材活用成功事例を共有する、発案会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回1企業の成功事例のシェアリングからグループディスカッション及び懇談会</li> <li>制約人材を抱えるチームメンバーの悩みの共有と心構えのシェア</li> <li>制約人材の具体的な活用方法のTIPS及びビジネスへの成果シェア</li> </ul>	WMを抱えるチームメンバー（特に管理職）への、制約人材の効率的な活用促進	社内の制限の活用状況と受入体制、公平な評価	制約人材を抱えるチームの管理職たち	月1回の定例開催	営業系・営業課の人事を中心としたメンバー	企業の研修費	GEWEL様の人脈を通じて企業人事への働きかけ

※提案書全ページをダウンロードできます。⇒ <http://bit.ly/mamabono2016GEWEL>

## チラシ制作

第20回「全国シェルターシンポジウム」を2017年度東京で実施するに際し、シンポジウムの価値を発信し、理解者協力者を増やすためのチラシを制作しました。

いま日本では・・・

3日に1人の妻が、夫から殺害されている

1週間に1人の子どもが、虐待で命を落としている

性被害を受けた10人のうち7人の女性は、誰にも相談できていない

男女平等ランキングで、世界144か国中111位

6人に1人の子どもが貧困である



DV・虐待・性被害・差別・貧困などの様々な社会問題の根は、力の不均衡とその濫用から起こる暴力が存在しています。

あらゆる暴力を容認せず、一人ひとりが尊重される多様性のある社会にすることは、日本および国際社会にとって重要な課題です。

第20回全国シェルターシンポジウム in 東京 のテーマ

# ノーモア暴力

～DV・虐待・性被害・差別・貧困の根絶～

開催予定日：2017年9月30日(土)・10月1日(日)

@文京シビックホール 大ホール

主催：NPO法人全国女性シェルターネットワーク/第20回全国シェルターシンポジウム2017 in 東京実行委員会

「全国シェルターシンポジウム」は、全国の支援団体が最新の支援ノウハウを共有し、社会に対しDV・暴力防止の啓発を行うために、NPO法人全国女性シェルターネットワークが毎年主催している全国規模のシンポジウムです。1998年より、これまでに延べ2万5千人以上の支援者や行政機関が参加しています。

第20回目となる2017年東京大会は、「ノーモア暴力～DV・虐待・性被害・差別・貧困の根絶～」をテーマに開催されます。本大会には、DVだけでなく「あらゆる暴力」をなくすために活動している支援団体や行政機関および、一般の方々を含む延べ約3千人が参加する予定です。

～ご協力をお願いします～

DV防止法などの法整備の推進に貢献してきた当シンポジウムは、参加費、自治体や企業のご寄付、そしてボランティアの協力により運営されています。第20回目の節目となる東京大会は、国際シンポジウムとしてさらに社会への訴求力を高めるために、節年よりも多くの企業や団体、自治体のみさまのご寄付・ご協力を必要としています。

このシンポジウムを実現するために、2017年秋までに開催資金の一部として、約500万円が必要です。今回は、企業・団体・自治体向けのご寄付プログラムもご用意しています。

一人ひとりが暴力ではない形で思いを伝えられるように  
暴力に対してははっきりと「NO」と言える社会になるように  
誰もが笑顔になる「ノーモア暴力」な世界になるように

シンポジウムへのご寄付・ご協力をご検討ください。

過去の後援・協賛一覧 (←クリック)

<行政>内閣府、厚生労働省、文部科学省、独立行政法人国際協力機構 (JICA)  
<企業>フィリップモリスジャパン合同会社、株式会社資生堂、日本マイクロソフト株式会社、P&G株式会社  
<団体>全国知事会、公益財団法人日本財団、独立行政法人国際交流基金、国際連合広報センター

その他、地方自治体、新聞社、テレビ局など

\*NPO法人全国女性シェルターネットワークとは、女性や子どもに対する暴力を根絶し、被害当事者の回復を支援することも目的として、1998年に設立されました。全国87団体のDV支援団体を繋ぎ、被害当事者にきめ細かい支援を行うと同時に、当事者と共に関与防止などの法整備に取り組みしています。

お問い合わせ先：第20回全国シェルターシンポジウム2017 in 東京 実行委員会  
TEL: 03-3818-4113 / Email: symposium2017tokyo@nwsnet.or.jp

このチラシは、NPO法人全国女性シェルターネットワークの「ママボノ」により制作されました。

## マーケティング基礎調査

患者のための交流・情報交換の場となる「語り合いの会」へのより多くの参加者を得るために、活動の価値を客観的に調べ、他団体の例などを調査するマーケティング基礎調査を行いました。

ママボノ 2016

市民のためのがん治療の会 最終成果品



11月11日キックオフミーティング@日本財団

国立での取り組みが『くにたちモデル』として発展しますように☆  
私達は、これからも市民のためのがん治療の会を応援します！

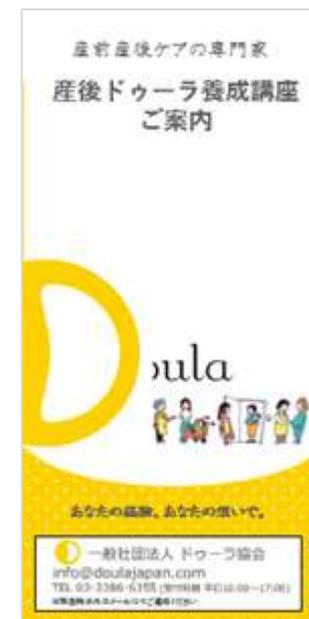
## チラシ制作

相談員になる、寄付をするなどの形でチャイルドラインのサポートをする「団体応援」募集のためのチラシを制作しました。



## チラシ制作

ドゥーラの存在がいかに産後の女性にとって有難く、社会にとって価値があるかを、さらにドゥーラとなることがいかに女性にとって魅力的な役割かを伝え、成り手を増やすためのチラシ制作を行いました。





## 課題整理ワークショップ

“対話の土壌”の重要性を伝え育むための「かもすワークショップ」の価値と可能性を探り、ファシリテーター養成を通してワークショップを発展させるための課題整理をしました。

### ＊か・も・すワークショップ

## 進行役・サブ進行役

\*\*\*\* 大募集!! \*\*\*\*

来年度のワークショップで進行役をやって

進行役って？

- 「か・も・すワークショップ」は全員参加行役は講師や先生ではなく、みなさん
- 進行役の役割は、参加者が安心して振り返ることができる場をつくること。特
- みなさんが進行役としてか・も・すワ

進行役をやるメリット① 日常のコミュニケーションUP！

「対話の土壌」の重要性の理解がより深まり、互いの意見・考えを共有できるようになります。

進行役をやるメリット② 安心・安全な場づくりができる

対立しあったり、遠慮して話せずに終わるのではなく、その場面で話を進めることができるようになります。

進行役をやるメリット③ 仲間ができる

ワークショップを通して、参加者や進行役同士の交流が生まれ、なにか話せないようなことでも、安心して話せる仲間ができます。

～ 進行役のココが気になる Q & A ～

Q. 自分にできるか、自信がないな…

現在の進行役も、もともと全員が素人です。始めはベテランの進行役と一緒に参加し、フォローしますよ。まずは、比較的短いセッション(アイスブレイク)から始めてみましょう。

Q. 事前の準備はどのくらい必要なの？

① 進行役ガイド(仮)を読み、心構えをおさえる ② 担当する回のワークブックを読む(5ページ程度) ③ 当日、ワークショップの流れを確認する打ち合わせを行う(30分程度)

Q. 体調不良や残業で、急に行けなくなったら？

やむをえずお休みする場合は、運営委員や他の進行役が代役で行います。次回以降にチャレンジしてくださいね。

Q. 進行がうまくいかなかったらどうしよう？

うまくやろうとする必要はありませんし、進行役に正解はありません。より良くするにはどうしたらよいか、振り返りをして次回以降にいかしていきたいと思います。



## アンケート活用

これまでニーズに応じて展開してきた事業が現在のニーズに対応できているのかを探り、今後の事業の発展に向けて活用するための、利用者アンケート（インターネット）を作成しました。

**清瀬市・子育てネットワークピッコロとは**

全国的に子育て家庭を支援しようとして20年活動

子育ても、楽しいと思える環境をつくりたい

**ピッコロチーム報告**

- 預かる理由は問わない24時間対応
- ひとり親・産前産後支援
- 障がい児の小中学校での
- コミュニケーション支援

**依頼内容／アンケートの作成**

- ①「現状の支援課題」を利用者から聞きたい
- ②「利用者のニーズ確認」利用者のニーズが変わっていないか、または新たなニーズが発生していないか確認する

**成果物／インタビュー**

考察資料      発言録      フォーラム用投影資料

にあつたピッコロさんの課題を提案し実施

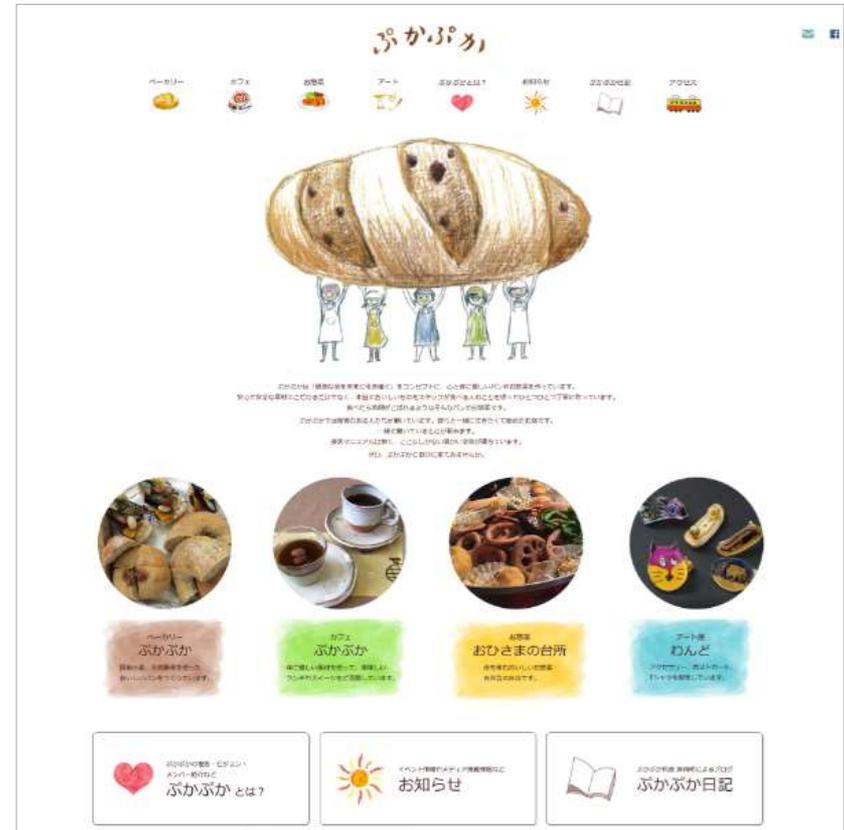
● ピッコロ20周年フォーラムで、地域

## ウェブ改善提案

障がいのある人たちの働くパン屋、カフェ、お惣菜屋、アートスタジオの店舗や商品の魅力だけでなく、障がい者と共に生きる社会の魅力を発信するための、ウェブサイト改善提案をしました。

<http://pukapuka-pan.xsrv.jp/>

ママボノ提案のデザインでリニューアル中



## マーケティング基礎調査

八王子市めじろ台において、町会の会館に地域の皆さんが  
 どのようなニーズや要望を持っているのか、地域住民の暮らしに  
 会館がどのように役立っているのかを知るためのマーケティング基礎調査を行いました。

### めじろ台町会連絡協議会 様 マーケティング基礎調査 最終報告

2016年12月7日(水)

#### 4. アンケート調査結果の報告 ～②回答率と回答者の概要

- 回答率について
  - 町会員
    - >1丁目から4丁目の各町会の町会員2,647世帯中、995世帯 (37.6%が回答)

#### 6. 建て替え検討のステップ～将来に向かって～

アンケート結果 会館を利用しているのは、限られた町民で、それ以外の町民は会館の運営や利用について認識や関心が低い。

本プロジェクトの前提  
めじろ台第一会館の老朽化に伴い、建て替えを含めたあり方を検討する

建て替えには町会員の意見を反映したい!

目標2 現在会館利用していない町民にも利用してほしい。

#### 7. よりよい会館にするために

目標1 利用者にと

さらに魅力的な会館にする為にママボノが自由な発想で考えてみました。①

みんなで学ぶ		みんなで遊ぶ	
めじろ台語り部 めじろ台の歴史を若い世代に伝える	生活の知恵講座 最木の削定方法や手芸など、町民が得意分野を教えあう。回転寿司で講師募集	ミニ四駆	お父さん世代と子ども世代が一緒に楽しむ
資格講座 英検や漢検の勉強会 英語等が得意な方が先生役に	セミナー開催 健康講座、携帯電話会社	常設展示 会館で活動する文化系サークルが活性化	めじろ台専門家集団 元保育士、香道師等専門から役立つ情報を学ぶ
昼休みの宿題・寺子屋 集まって勉強することによる	読書会 世代を超えた趣味の会	食で繋がる 子ども食堂 高齢者ランチ会	元気な街 めじろ台 ジム 専門機種の購入は難しくても、マットがあればヨガやストレッチは可能な場所になる!

#### 7. よりよい会館にするために

さらに魅力的な会館にする為にママボノが自由な発想で考えてみました。②

## アンケート活用

女性支援として行っているカナダ式親育てプログラムのNP（ノーバディーズパーフェクト）講習会が参加者や地域に与えた効果を明確化するためのアンケートの設計と項目の作成をしました。



石巻とのミーティングはSkypeで

(ファンジテーターアンケート)

**受講生**

【ご自身のことについてお聞かせください】

1. 年代 19歳以下 20代 30代 40代 50代 60代以上
2. 性別 男 女
3. 職業 学生 主婦 会社員 公務員 アルバイト フリーター その他 ( )
4. ファンジテーター養成講座を受講しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

【ファンジテーター養成講座受講後のあなたの状況についてお聞かせください】

5. ファンジテーターの認定を取得しましたか。 取得済み/指導中 取得予定 取得の予定はない
6. 認定取得に関して教えてください。
  - 6-1. 質問5で「指導済み/指導中」の方のみお答えください。  
認定取得時に苦労した点はありますか。
  - 6-2. 質問5で「取得予定」の方のみお答えください。  
認定取得の障害となっている事項があれば教えてください。
  - 6-3. 質問5で「取得の予定はない」の方のみお答えください。  
それはなぜですか。またどのようなサポートがあれば指導を検討しますか。

【NP講座受講後についてお聞かせください】

7. ご自身で講座を運営しようとした場合の課題について教えてください。(複数回答可)  
※取得の予定はない/回答された方も、ご自身で運営される場合を想像してお答え下さい。  
費用 託児スペース確保 ファンジテーター確保 会場 受講者集め その他 ( )

## マーケティング基礎調査

ビジネス感覚を保ちたい、キャリアアップを目指したい育休中のママ達に繋がりと学びの機会について、ニーズを調査し解決策も合わせて提案しました。





## 業務改善提案

会員の情報管理について整理し、講演会など必要な時に必要な情報を効率的に活用できるように、改善提案をしました。



## 4. 参加者アンケート結果

目的：ママボノの効果検証

対象者：ママボノ2016参加者 78名

回答方法：ウェブ

回答期間：2016年12月7日～12月27日

告知方法：電子メール

回答状況：78件（100%）

# 参加をした印象はいかがでしたか？

非常に悪い印象を持っている 0%

悪い印象を持っている 0%

良い印象を持つ  
ている 26%

非常に良い印象  
を持っている  
74%

よい印象を  
持っている  
100%



※複数選択

# ママボノに参加をした感想は？

ネットワーク

ネットワーク、交友関係が広がった **87.2%**

視野

視野が広がったり、人間的成長につながった **83.3%**

仕事・  
復職

仕事の感覚を取り戻すことができた **56.4%**

仕事につながるヒントや学びを得られた **52.6%**

社会問題やNPOに対する見方や考え方が変わった **51.3%**

仕事と育児を両立するための練習になった **47.4%**

社会に対して役に立っているという実感が持てた **41.0%**

自分に自信が湧いた **28.2%**

子育てに役立つヒントが得られた **25.6%**

夫婦・家族の会話が豊かになった **19.2%**

自由に使える時間が減り、家族などプライベートの人間関係に支障が出た **14.1%**

子どもを預けて働く練習になった **10.3%**

特に変化は無かった **1.3%**

その他... **1.3%**

**87.2%**

## 《仕事》

- 復職前のトレーニングになっただけでなく、自分が勤める企業・業界以外で働く方と取り組めたことで、視野が広がった。
- チームメンバーの仕事の進め方やこれまで知ることのなかった専門分野の知識にも触れることが出来て、とても刺激になった。
- 自覚していなかったスキルがあることが判明し、自信につながった。
- 支援先の役に立っているという実感から、働くこと・仕事をすることに対して、前向きな気持ちになった。
- 誰かの役に立っていることをダイレクトに感じられるので、自己肯定感をもって復職できたのでよかった。
- 仕事において新たなチャレンジができそうな手応えを感じた。

## 《ネットワーク》

- 復職後は出会えないであろう全く環境が異なるメンバーとの交流や出会いはとても刺激的かつ視野を広げてくれた。
- 児童館などで育休中のママと会っても、子供の話が中心で互いの仕事を話すことはほとんどありません。ママボノメンバーは、仕事という自分の土台をオープンにした上での付き合いなので、仕事の悩みをはじめ、育児や家庭の悩みも話しやすかったです。

# あなたにとって「ママボノ」とは？

ママボノ  
mamabono



(抜粋)

**復帰に対する自信**  
をくれたもの

**「働くのが大好き！」**  
の**同志に鼓舞される場**

**働く**を見つ  
めなおす

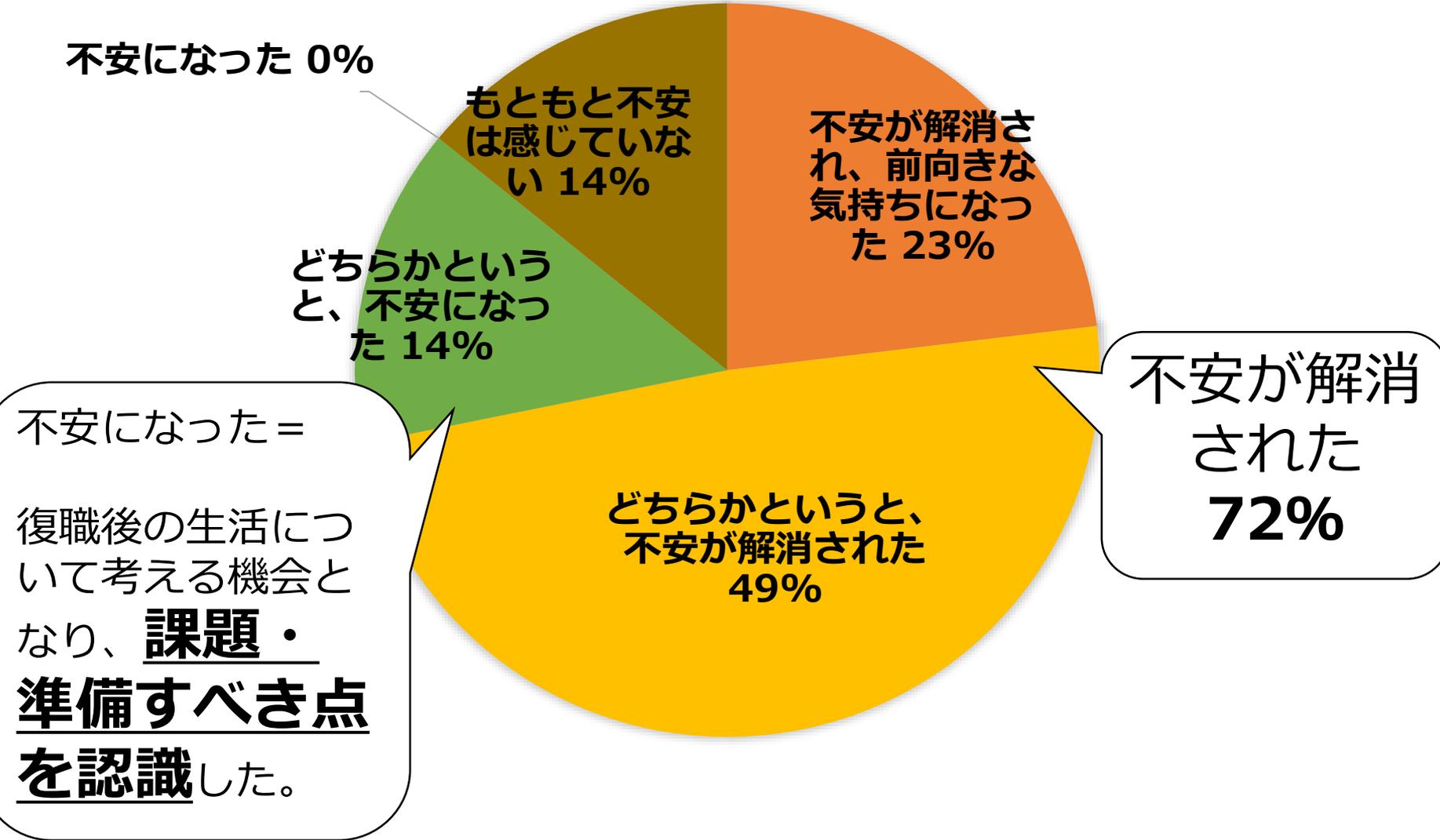
**超濃厚なチーム**  
**ビルディングを**  
学べる

育休中も**社会との**  
**つながり**を見失わ  
ない活動

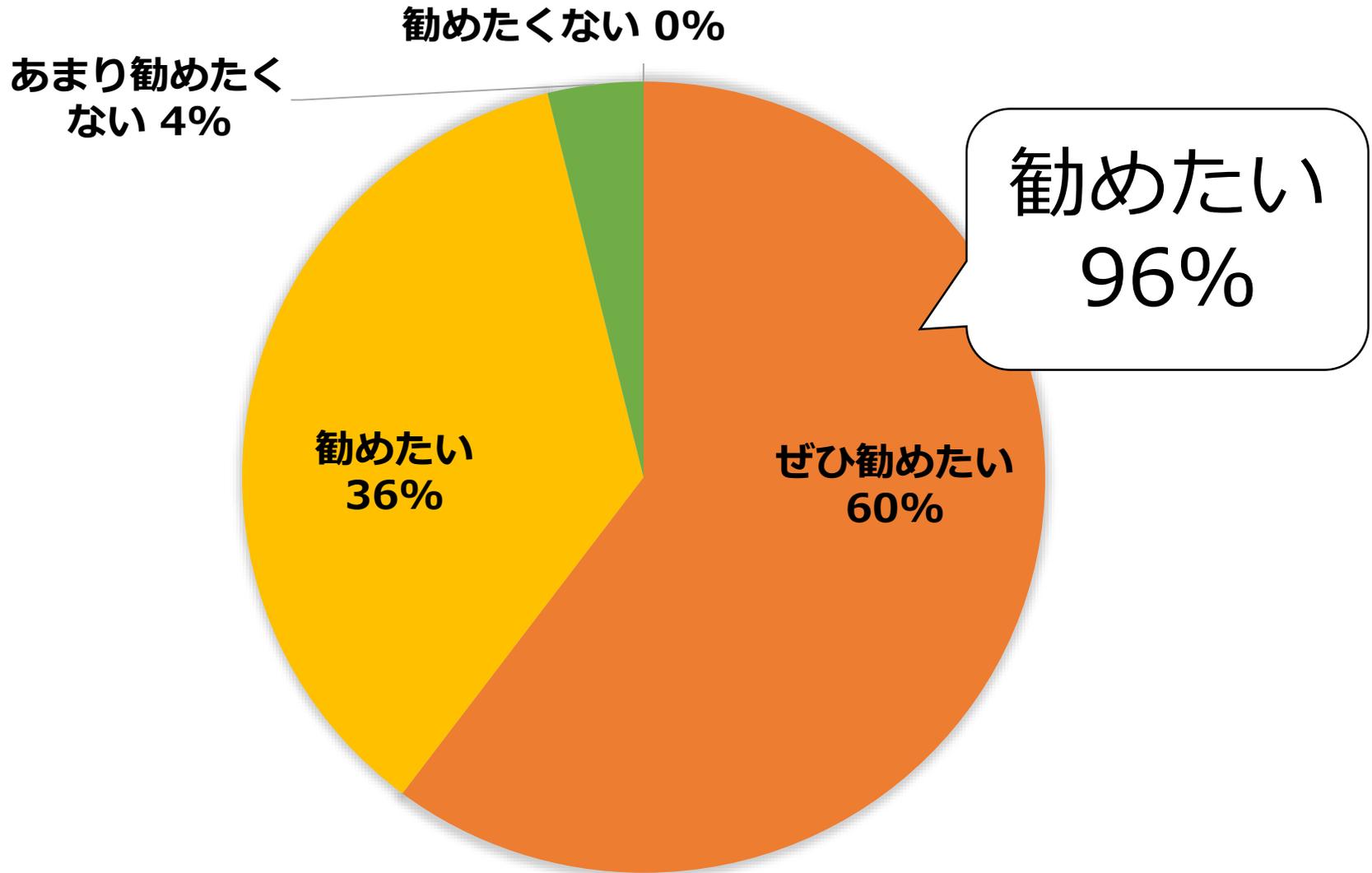
**育休を変革**  
させるもの

**ブランクをキャリアに**  
変えるもの

# ママボノ参加前と比べて、復職や働くことについてどのように感じていますか？



# ママボノを他の人に勧めたいですか？



# 5. 支援先アンケート結果

目的：ママボノの効果検証

対象者：ママボノ2016支援先 12団体

回答方法：ウェブ

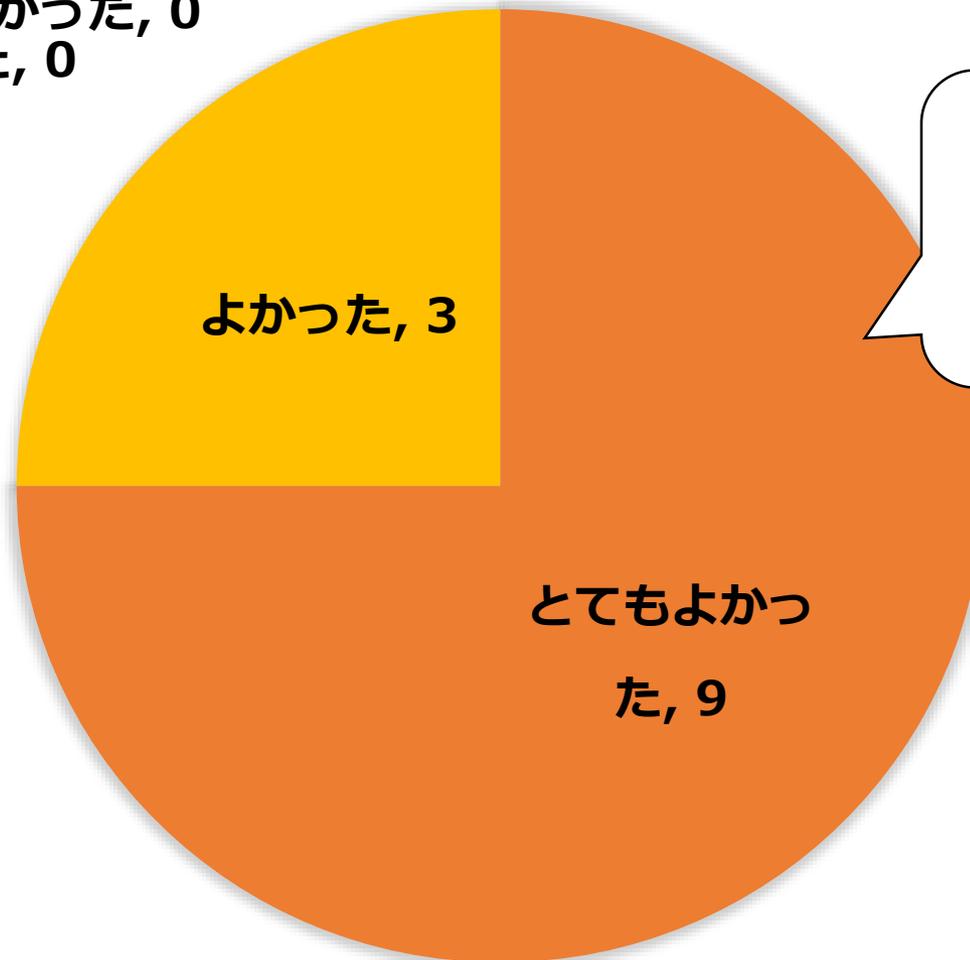
回答期間：2016年12月7日～12月27日

告知方法：電子メール

回答状況：12件（100%）

# ママボノ支援を受けてよかったですか？

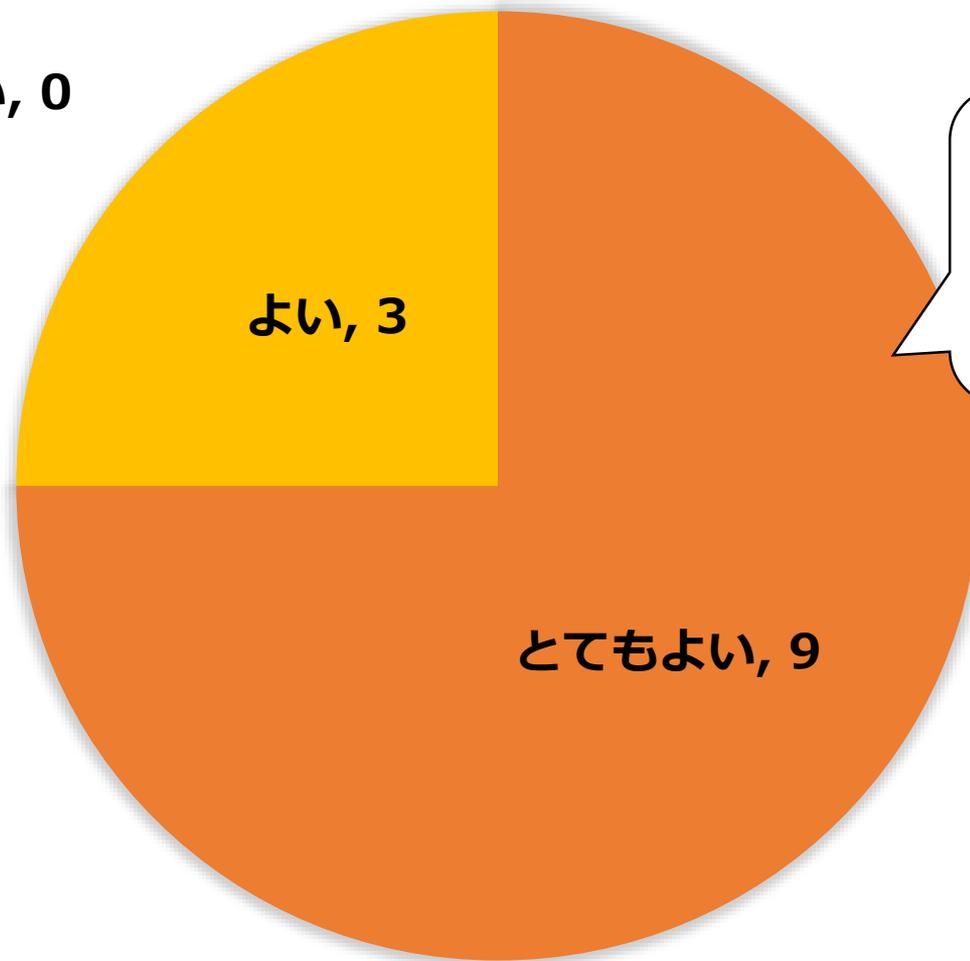
あまりよくなかった, 0  
よくなかった, 0



よかった  
100%

# 成果物についていかがでしたか？

よくない, 0  
あまりよくない, 0



よい  
100%

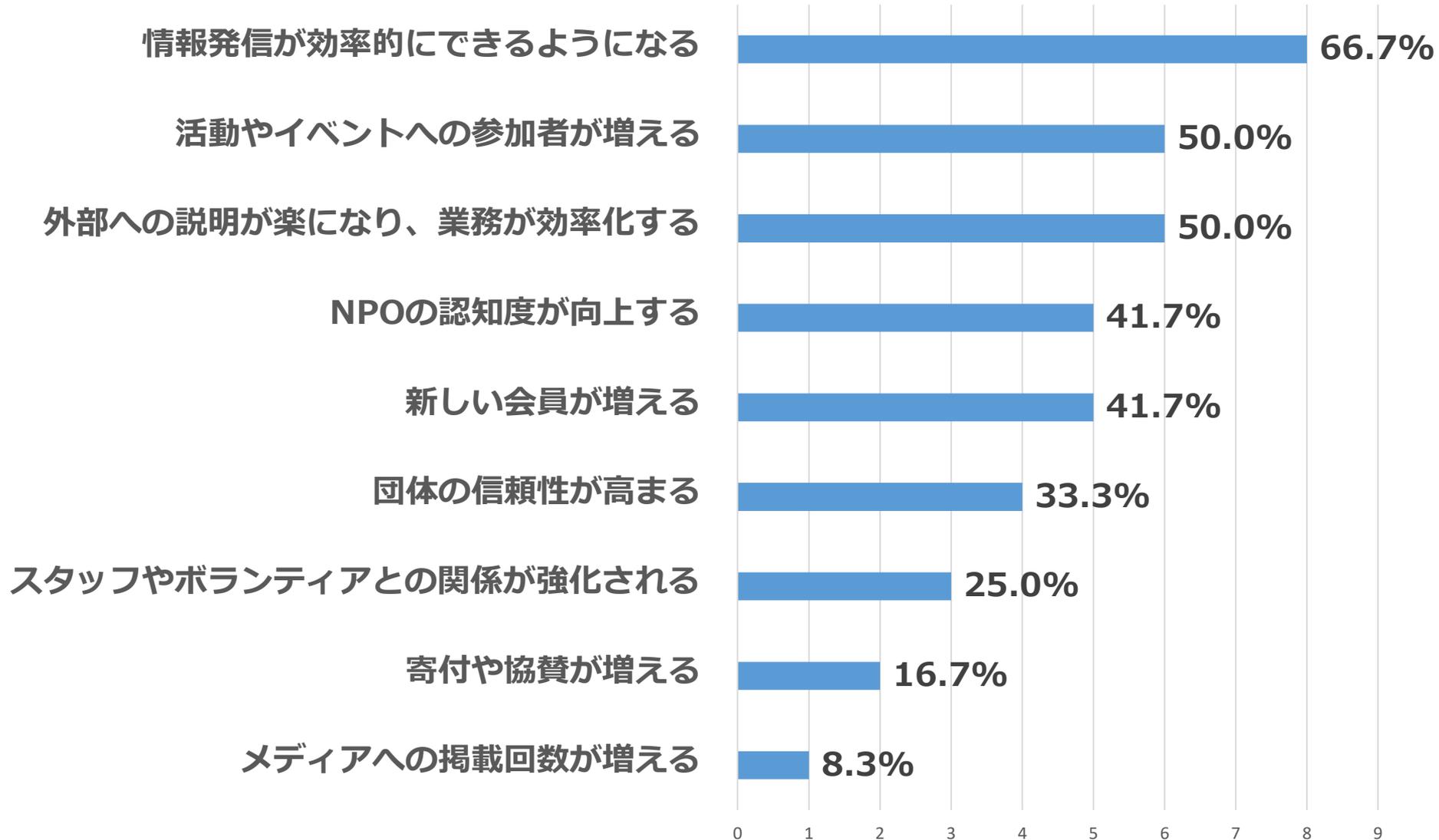
# 納品された成果物はいかがでしたか？



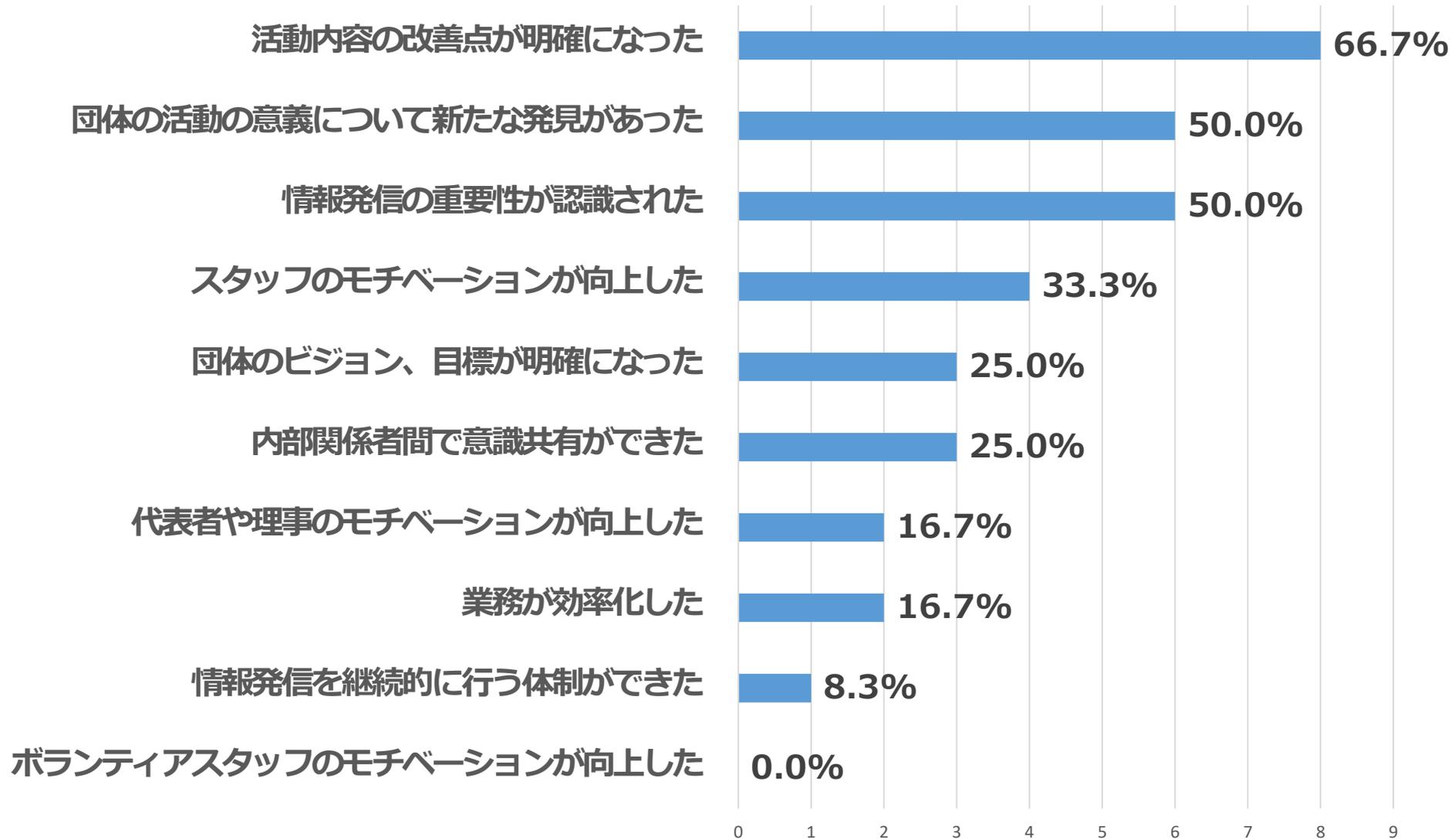
(抜粋)

- 感動して涙が出そうでした。単なるデザインの問題ではなく、それまで調べ上げたデータとそのデータをもとにどのようにすればいいかの提案が集約されているように思いました。
- 丁寧に、対象者にまず聴き取りをしていただき、アンケート項目について精査しながら作っていただき、感銘を受けました。
- 当初想定していた以上のご提案を頂きました。
- 団体の活動をよく理解して下さった上で、受け取る側がわかりやすい表現、レイアウトに改訂していただきました。
- 赤ちゃんを抱えながら短期間によくまとめられたと思います。
- 限られた期間に、多くのヒアリングをしていただき、貴重な当事者の意見が体系的にまとめられていました。
- 調査結果をもとに、課題解決のためのクリエイティブなご提案をいただき、今後の活動の参考になりました。

# 今回の成果物から期待される成果は？



# 今回の支援による団体内部の変化は？



# あなたにとって「ママボノ」とは？

ママボノ  
mamabono



(抜粋)

頼りになる**同士**

**社会をよくする**活動

強力な助っ人

**人という社会資源**  
のシェア

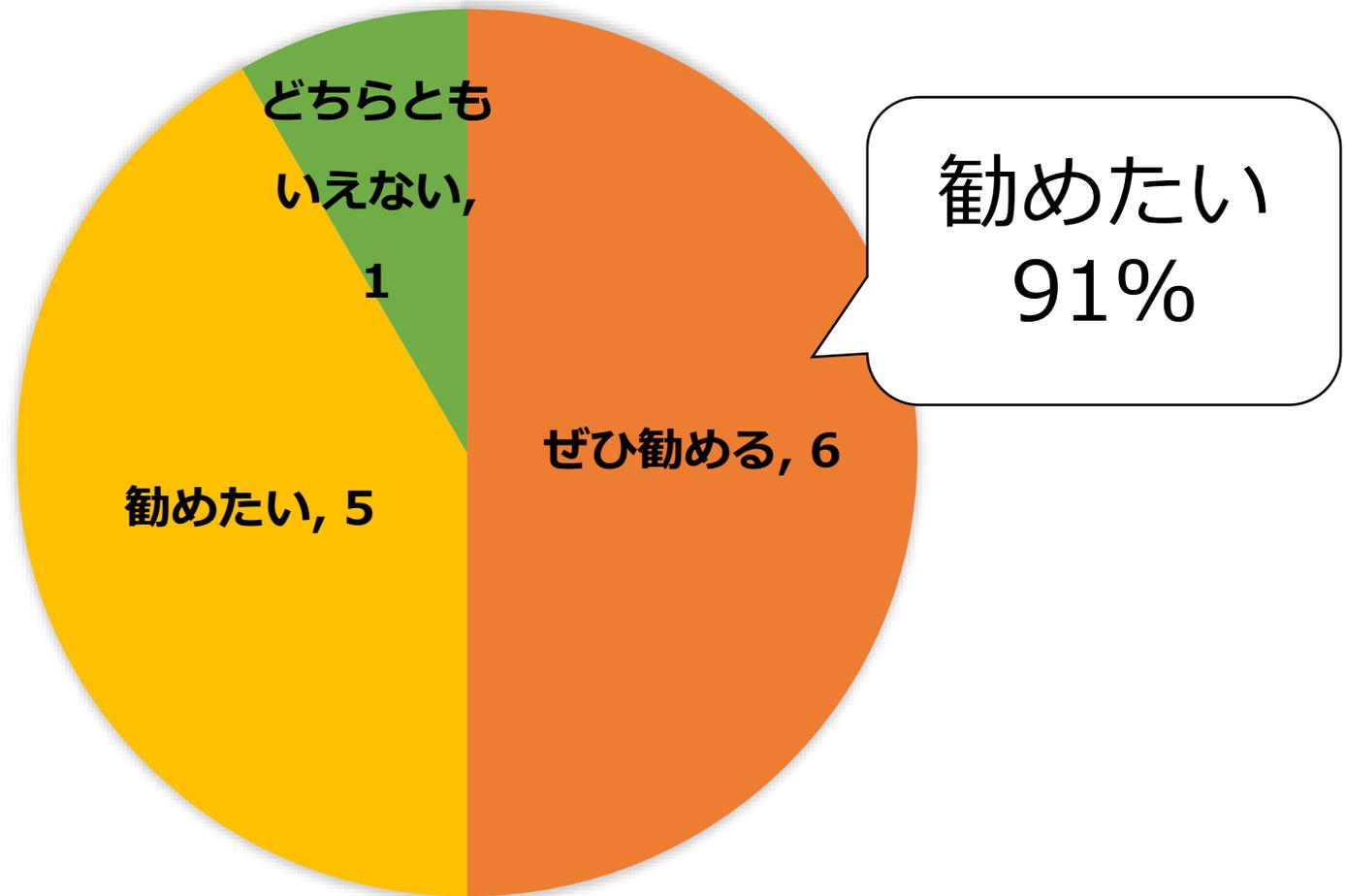
最高のお助けマン

**新しい仲間**

**新風！** とてもフレッシュ  
で前向きな気持ちになれ  
る仕事でした

**新たな価値の創造**を  
やってのける人々

# ママボノの支援を人に勧めたいですか？



## 6. メディア掲載

- 2016年9月7日放映 **NHK「おはよう日本」**  
ママボノ紹介イベント『仕事復帰に向けて「私」を見つめ直す（2016/9/6実施）紹介
- 2016年9月18日掲載 **毎日新聞**（大阪版）  
「育休中のボランティア 参加者募集」
- 2016年9月24日 **東京新聞**（夕刊）2016年度ママボノ参加者募集
- 2016年10月27日 **くらしと仕事** <http://kurashigoto.me/articles/MSXDZ>  
育休中にスキルアップも!?自信を持って復職するための産休・育休の過ごし方
- 2016年11月28日 **ハレタル** <https://haretal.jp/shigoto/ps2016112801/>  
仕事復帰の“助走”をボランティアで
- 2016年12月19日 **くらしと仕事** <http://kurashigoto.me/articles/pYLyf>  
育休中ママが社会貢献活動。「ママボノ」キックオフミーティングで垣間見た、その魅力
- 2016年12月27日放映 **NHK「首都圏ネットワーク」**  
育休ママの研修 職場復帰前に不安解消

- 2017年1月11日掲載 **日経新聞 WOMAN START**

<http://style.nikkei.com/article/DGXMZO11400620W7A100C1000000?channel=DF130120166018>

「復職に備えて育休中にスキルアップ プログラムが活況」

- 2017年2月1日掲載 **SAISON CHIENOWA**

<https://www.saison-chienowa.jp/articles/hYE0EpcG>

育休中に「仕事スイッチ」を押してみる。復職前に子連れで「ママボノ」に参加してみた

- 2017年2月16日 **くらしと仕事 (ウェブ)** <http://kurashigoto.me/articles/Nyo6a>

ママたちが育休中のチャレンジで得たものは？「ママボノ2016」成果発表会レポート

- 2017年3月30日 **くらしと仕事 (ウェブ)** <http://kurashigoto.me/articles/Xg6me>

働き方が変わりワーキングマザーが先頭に立つ時代がやってくる！ママボノで見た育休経験や女性的能力の活かし方

- 「日経DUAL」「ハピママ」「二枚目の名刺」取材中



mamabono  
ママボノ

【ママボノ事務局】認定NPO法人 サービスグラント  
東京 150-0002 東京都渋谷区渋谷1-6-3-502  
関西 541-0055 大阪府中央区船場中央1-3-2-302  
email: [info@servicegrant.or.jp](mailto:info@servicegrant.or.jp) tel: 03-6419-4021

ママボノウェブサイト : <http://servicegrant.or.jp/program/mamabono.php>  
ママボノFacebook : <https://www.facebook.com/servicegrant.mamabono/>

企画・運営



Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION